大阪大学医学部附属病院においてこれまでに剖検にご協力いただいた患者さんのご遺族の皆様へ

～研究課題「前頭側頭葉変性症の早期診断法開発および、自然歴に影響する臨床・遺伝因子の探索（FTLD-J）」に関する情報公開～

2026 年 7 月 28 日

対象研究名：前頭側頭葉変性症の早期診断法開発および、自然歴に影響する臨床・遺伝因子の探索（FTLD-J）

本研究の実施にあたり、2021 年 8 月 15 日より既存の剖検例を新たな同意取得無しに本研究の対象として情報を使用致します。そのため、大阪大学医学部附属病院においてこれまでに剖検にご協力いただいた患者さんのご遺族の皆様へ以下のように情報を公開致します。

１．研究機関と責任者

研究責任者：大阪大学　ウェルネス推進機構健康支援相談センター　特任教授　池田 学

共同研究機関と各機関責任者名：

愛知医科大学　学長　祖父江 元
愛知医科大学　加齢医科学研究所　特命研究教授　吉田 眞理
浅香山病院　認知症疾患医療センター長　釜江（繁信） 和恵
足利赤十字病院 神経精神科　部長　船山 道隆
大阪公立大学大学院医学研究科神経内科学　講師　武田 景敏
大阪精神医療センター精神科　診療主任　竹田 佳世
岡崎市民病院　認知症疾患医療センター　センター長　桝田 道人
鹿児島大学　神経科精神科 教授　中村 雅之
きのこエスポアール病院　精神科　院長　横田 修
京都大学　iPS 細胞研究所　教授　井上治久
近畿大学　精神神経科学　教授　橋本 衛
熊本大学　神経精神科　教授　竹林 実
独立行政法人国立病院機構　相模原病院　神経内科医長　川浪 文
滋賀医科大学　精神医学　教授　尾関 裕二
高木病院　脳神経内科　部長　藤岡 伸助
筑波大学　精神医学　教授　新井 哲明
東京慈恵会医科大学　精神医学講座　教授　品川 俊一郎
徳島大学　脳神経内科　教授　和泉 唯信
鳥取大学　脳神経内科　教授　花島 律子
長崎大学　脳神経内科　教授　辻野 彰
名古屋大学　脳神経内科　教授　勝野 雅央
新潟大学脳研究所　生命科学リソース研究センター遺伝子機能解析学　教授　池内 健
広島大学　脳神経内科　教授　丸山 博文
福岡大学　神経内科　教授　馬場 康彦

福島県立医科大学会津医療センター 精神医学講座教授 川勝 忍
藤田医科大学　脳神経内科　教授　渡辺 宏久
藤田医科大学　認知症・加齢脳科学科　教授　小林 良太
北海道大学　神経内科 教授　矢部 一郎
独立行政法人国立病院機構 松江医療センター　院長　古和 久典
みつぐまち診療所　院長　津野田 尚子
山形大学医学部医学科　精神医学講座　助教　森岡 大智
横浜市立大学大学院医学研究科　神経内科学・脳卒中医学　講師　東山 雄一
武田薬品工業株式会社日本開発センターシニアクリニカルサイエンスダイレクター　野々村 英典

２．当該研究の意義・目的

前頭側頭葉変性症（FTLD）は、前頭葉と側頭葉を中心に変性が進み、特徴的な行動異常、情緒障害、言語障害、種々の程度の運動障害を示す認知症です。FTLD の疾患頻度はアルツハイマー病、レビー小体型認知症と並んで高く、その自然歴を明らかにすることは、治療介入研究を展開する上で極めて重要です。しかし、近年の研究の進歩に伴い、FTLD は臨床的、病理学的、遺伝学的に単一な疾患ではなく、様々な疾患が含まれていることが明らかとなっています。しかし臨床像と病理像とを高い感度と特異度で橋渡し出来る診断マーカーは存在していません。本研究は、①病理学的に FTLD と診断される可能性のある臨床像を示す疾患の認知機能、日常生活活動（ADL）、介護負担度、頭部 MRI を前方向的に評価し、各臨床病型の自然歴を把握する、②臨床診断と病理診断との一致率を確認する、③髄液・画像・遺伝子を用いたバイオマーカーを開発する、④既存の診断基準を基に新たな診断基準を構築する、以上を目的としております。

３．当該研究の対象者

病理学的に FTLD と診断される可能性のある疾患、具体的には前頭側頭型認知症、運動神経障害を伴う前頭側頭型認知症、意味性認知症、進行性非流暢性失語、筋萎縮性側索硬化症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、アルツハイマー病と診断されている方を対象としています。

これまでに剖検にて上記疾患と病理学的に診断された方のうち、臨床データの提供についての同意が得られている場合については、新たな同意取得なしに本研究の対象として情報を使用させていただきます。

４．当該研究の方法

既存の既存剖検については、発症時期、初発症状、症状の経過、認知機能検査の結果や頭部画像、血液検査、髄液検査などの情報を診療録から収集します。

５．研究期間

2012 年 10 月 30 日から 2031 年 3 月 31 日
（大阪大学での実施承認日は 2017 年 2 月 20 日）

６．研究に関する説明と同意につきまして

既存の剖検症例に関しましては、他施設への臨床データの提供についての同意が得られている例を対象と致します。

７．個人情報保護の方法

ご提供頂きました臨床情報はすべて名前やＩＤなど個人を同定できる情報を除き、番号化した状態（匿名化された状態）で解析されます。この研究のための臨床情報が保存されたり、関連研究に提供されたり、研究成果が発表されるときにはすべて番号化、匿名化された状態であり、個人が特定されるような情報が外部に出されることはありません。

８．本研究について、問い合わせ先、苦情等の受付先

この臨床研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、これまでに剖検にご協力いただいた患者さんのご親族の方が、本研究にデータが使用される事を望まれない場合には、下記担当者までご連絡ください。

〇問い合わせ先

大阪大学医学部附属病院　神経科・精神科
〒565-0871 吹田市山田丘 2 番 15 号　TEL: 06-6879-5111(代表)
担当　森 康治